



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年4月27日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 正一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山本 賢 (TEL) 03(3231)6811  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の業績 (平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	13,740	3.3	1,184	59.0	1,223	54.0	803	50.8
27年12月期第1四半期	13,298	—	745	—	794	—	532	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	28 39	—
27年12月期第1四半期	18 83	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	97,860	82,836	84.6
27年12月期	98,868	82,826	83.8

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 82,836百万円 27年12月期 82,826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	24 00	—	24 00	48 00
28年12月期	—				
28年12月期(予想)		24 00	—	24 00	48 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,000	△2.2	3,300	△32.9	3,400	△33.8	2,300	△34.8	81 27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2016年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期 1 Q	28,800,000株	27年12月期	28,800,000株
② 期末自己株式数	28年12月期 1 Q	500,811株	27年12月期	500,768株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期 1 Q	28,299,195株	27年12月期 1 Q	28,299,896株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令又は規制の変化
- ◇ 研究開発の遅延又は中止
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 訴訟の提起

業績予想については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績 .....	2
(2) 財政状態 .....	3
(3) 研究開発活動 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績

当第1四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりであります。

	平成27年12月期 第1四半期累計期間	平成28年12月期 第1四半期累計期間	増減額	増減率
売上高(百万円)	13,298	13,740	441	3.3%
営業利益(百万円)	745	1,184	439	59.0%
経常利益(百万円)	794	1,223	428	54.0%
四半期純利益(百万円)	532	803	270	50.8%

売上高は、13,740百万円と前年同期に比べ441百万円(3.3%)増加しました。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」が2,890百万円と前年同期に比べ35百万円(1.2%)、「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」が3,255百万円と前年同期に比べ2百万円(0.1%)、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン剤)」が1,514百万円と前年同期に比べ0百万円(0.0%)それぞれ減少しましたが、「リオナ錠(高リン血症治療剤)」が1,205百万円と前年同期に比べ269百万円(28.8%)、「スタリビルド配合錠(抗HIV薬)」が814百万円と前年同期に比べ191百万円(30.7%)、「シダトレン スギ花粉舌下液(減感作療法(アレルゲン免疫療法)薬)」が188百万円と前年同期に比べ116百万円(160.5%)それぞれ増加しました。

費用面におきましては、売上原価は6,475百万円と前年同期に比べ76百万円(1.2%)増加し、販売費及び一般管理費は6,079百万円と前年同期に比べ74百万円(1.2%)減少しました。

以上の結果、営業利益は1,184百万円と前年同期に比べ439百万円(59.0%)増加し、経常利益は1,223百万円と前年同期に比べ428百万円(54.0%)増加しました。四半期純利益につきましては、803百万円と前年同期に比べ270百万円(50.8%)増加しました。

なお、平成28年1月に日本イーライリリー株式会社(以下、「日本イーライリリー」と「イキセキズマブ(※)」に関する戦略的販売提携契約を締結いたしました。

また、日本たばこ産業株式会社(以下、「JT」)から平成27年3月に販売権を取得した抗HIV薬「エルビテグラビル/コビスタット/エムトリシタビン/テノホビル アラフェナミドフマル酸塩(E/C/F/TAF)配合錠」について、JTが平成28年3月に日本国内における製造販売承認申請を行っております。

※日本イーライリリーが開発中で平成27年「中等症から重症の尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症」を適応症として日本国内における製造販売承認申請をした、ヒト化抗ヒトIL-17Aモノクローナル抗体「イキセキズマブ(遺伝子組換え)製剤」。

(2) 財政状態

当第1四半期会計期間末の総資産は、97,860百万円と前事業年度末に比べ1,007百万円(1.0%)減少しました。これは、商品及び製品が1,786百万円、現金及び預金が1,749百万円、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が1,743百万円増加しましたが、有価証券が3,902百万円、受取手形及び売掛金が2,515百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、15,024百万円と前事業年度末に比べ1,018百万円(6.3%)減少しました。これは、買掛金が1,382百万円増加しましたが、未払法人税等が1,469百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が971百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、82,836百万円と前事業年度末に比べ10百万円(0.0%)増加しました。

(3) 研究開発活動

当第1四半期累計期間の研究開発費の総額は1,042百万円であります。

なお、現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2016年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

(4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成28年2月3日「平成27年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を変更しておりません。なお、平成28年4月に実施の薬価改定の影響につきましては予想数値に織り込み済みであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,361	16,111
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	4,348	6,091
受取手形及び売掛金	27,904	25,389
有価証券	18,708	14,805
商品及び製品	6,132	7,918
仕掛品	508	636
原材料及び貯蔵品	3,195	3,760
その他	1,994	2,360
流動資産合計	77,155	77,074
固定資産		
有形固定資産	6,182	5,980
無形固定資産	955	931
投資その他の資産	14,575	13,874
固定資産合計	21,713	20,786
資産合計	98,868	97,860
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,853	8,236
未払法人税等	1,915	446
賞与引当金	660	1,257
役員賞与引当金	54	11
返品調整引当金	1	1
その他	4,988	3,518
流動負債合計	14,472	13,471
固定負債		
退職給付引当金	393	416
その他	1,176	1,136
固定負債合計	1,569	1,552
負債合計	16,042	15,024
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	71,384	71,509
自己株式	△863	△863
株主資本合計	82,127	82,251
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	698	584
評価・換算差額等合計	698	584
純資産合計	82,826	82,836
負債純資産合計	98,868	97,860

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	13,298	13,740
売上原価	6,398	6,475
売上総利益	6,899	7,264
販売費及び一般管理費		
販売促進費	1,054	1,086
給料及び手当	1,279	1,311
賞与引当金繰入額	551	507
研究開発費	1,119	1,042
その他	2,150	2,132
販売費及び一般管理費合計	6,154	6,079
営業利益	745	1,184
営業外収益		
受取利息	20	17
受取配当金	0	0
為替差益	18	12
その他	11	8
営業外収益合計	51	38
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	2	0
営業外費用合計	2	0
経常利益	794	1,223
特別損失		
固定資産除却損	0	14
特別損失合計	0	14
税引前四半期純利益	793	1,209
法人税等	260	405
四半期純利益	532	803

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

該当事項はありません。



# 2016年12月期 第1四半期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
II 2016年12月期 第1四半期実績	P.2
① 四半期損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 四半期貸借対照表	P.5
④ 設備投資の状況	P.6
⑤ 非資金項目	P.6
⑥ 研究開発の状況	P.6
III 2016年12月期 業績予想	P.7
① 損益計算書	P.7
② 製商品別売上高	P.9
③ 設備投資の状況	P.10
④ 非資金項目	P.10
⑤ 配当	P.10
【将来に関する記述等についてのご注意】	P.10

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てて表示しております。

2016年4月27日



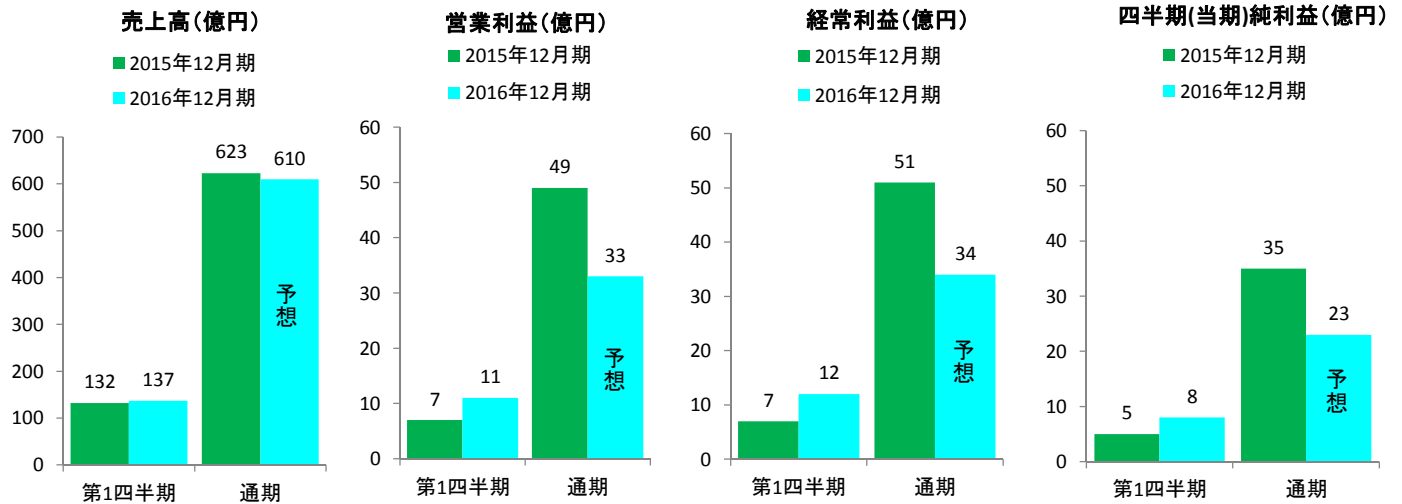
鳥居薬品株式会社

# I サマリー情報

## ① 経営成績

※2016年12月期 業績予想については、2016年2月3日「2015年12月期決算 参考資料」で発表しております予想数値から変更はありません。なお、2016年4月に実施の薬価改定の影響につきましては予想数値に織り込み済みであります。

(単位:百万円)	2015年12月期 第1四半期 A	2016年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2015年12月期 実績	2016年12月期 予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	13,298	13,740	441	3.3	62,378	61,000	22.5
営業利益	745	1,184	439	59.0	4,919	3,300	35.9
経常利益	794	1,223	428	54.0	5,135	3,400	36.0
四半期(当期)純利益	532	803	270	50.8	3,527	2,300	34.9
(参考)							
研究開発費	1,119	1,042	△76	△6.9	5,237	4,700	22.2
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 18.83	28.39	9.56		124.65	81.27	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 0.7	1.0	0.3		4.3	-	
総資産経常利益率	(%) 0.9	1.2	0.3		5.4	-	
売上高営業利益率	(%) 5.6	8.6	3.0		7.9	-	
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 0.6	0.8	0.2		3.7	-	



## ② 財政状態

(単位:百万円)	2015年12月期 A	2016年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	98,868	97,860	△1,007	△1.0
純資産	82,826	82,836	10	0.0
自己資本比率	(%) 83.8	84.6	0.8	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 2,926.81	2,927.17	0.36	

## Ⅱ 2016年12月期 第1四半期実績

### ① 四半期損益計算書

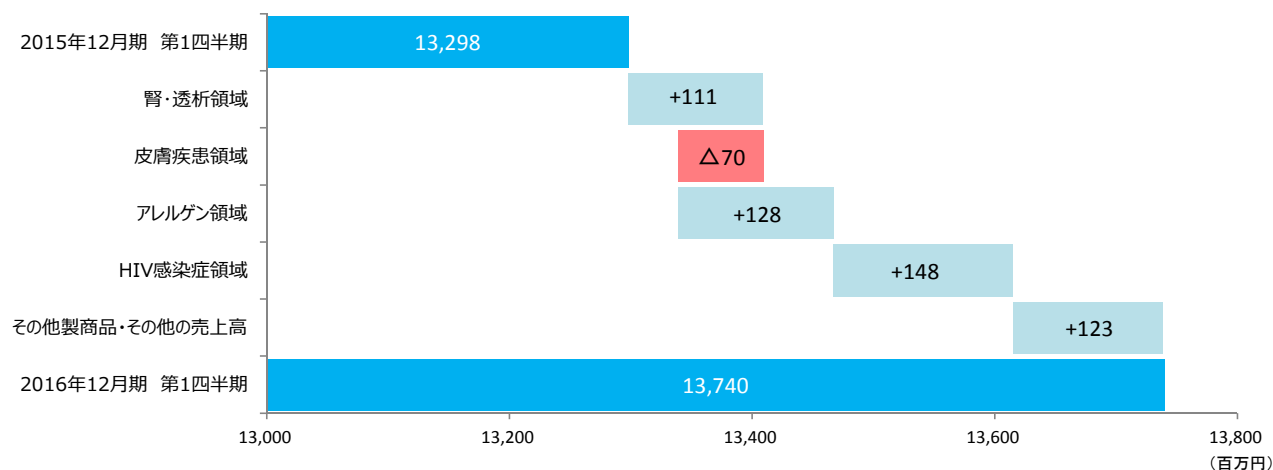
(単位:百万円)	2015年12月期	2016年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第1四半期	第1四半期		
	A	B		
売上高	13,298	13,740	441	3.3
製商品売上高	13,203	13,609	406	3.1
腎・透析領域	5,717	5,829	111	2.0
皮膚疾患領域	2,369	2,299	△70	△3.0
アレルギー領域	174	302	128	73.9
HIV感染症領域	3,612	3,761	148	4.1
その他	1,328	1,417	88	6.7
その他の売上高	94	130	35	37.2
売上原価	6,398	6,475	76	1.2
製商品売上原価	6,386	6,459	73	1.1
その他の原価	11	15	3	29.3
売上総利益	6,899	7,264	365	5.3
販売費及び一般管理費	6,154	6,079	△74	△1.2
販管費(研究開発費除く)	5,035	5,037	2	0.0
研究開発費	1,119	1,042	△76	△6.9
営業利益	745	1,184	439	59.0
営業外収益	51	38	△12	—
営業外費用	2	0	△2	—
経常利益	794	1,223	428	54.0
特別損失	0	14	13	—
税引前四半期純利益	793	1,209	415	52.3
法人税等	260	405	144	—
四半期純利益	532	803	270	50.8

#### (参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2015年12月期	2016年12月期	増減
	第1四半期	第1四半期	
	A	B	
売上原価	48.1	47.1	△1.0
販売費及び一般管理費	46.3	44.3	△2.0
研究開発費	8.4	7.6	△0.8
営業利益	5.6	8.6	3.0
経常利益	6.0	8.9	2.9
四半期純利益	4.0	5.8	1.8

【対前年同期増減要因】

売上高（13,740百万円 対前年同期 +441百万円）



主な増減要因

腎・透析領域	：リオナ錠	+269百万円
アレルギー領域	：シダトレン スギ花粉舌下液	+116百万円
HIV感染症領域	：スタリビルド配合錠	+191百万円

※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照

営業利益（1,184百万円 対前年同期 +439百万円）

特記事項：特になし

経常利益（1,223百万円 対前年同期 +428百万円）

特記事項：特になし

四半期純利益（803百万円 対前年同期 +270百万円）

特記事項：特になし

## ② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2015年12月期 第1四半期 A	2016年12月期 第1四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	13,203	13,609	406	3.1
レミッチカプセル	3,258	3,255	△2	△0.1
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	2,925	2,890	△35	△1.2
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
アンテベート ※	1,514	1,514	△0	△0.0
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
リオナ錠	936	1,205	269	28.8
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
スタビルド配合錠	622	814	191	30.7
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
注射用フサン ※	627	560	△67	△10.7
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ビオスリー	518	554	35	6.9
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ケイキサレート ※	513	507	△6	△1.3
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
ロコイド ※	331	338	6	2.1
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ユリノーム錠 ※	381	300	△81	△21.4
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
マグセント	218	237	19	8.7
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
ゼフナート	220	209	△11	△5.1
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※	72	188	116	160.5
スギ花粉症の減感作療法(アレルギー免疫療法)薬 [アレルギー領域]				
その他製商品	1,061	1,032	△28	△2.7

※ 自社品

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2015年12月期 第1四半期 A	2016年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	3,864	3,825	△38	△1.0
自社品比率 (%)	29.3	28.1	△1.2	-

③ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)	2015年12月期	2016年12月期	増減額	増減率 (%)	構成比 (%)
	A	第1四半期 B			
流動資産	77,155	77,074	△80	△0.1	78.8
現金及び預金	14,361	16,111	1,749		
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	4,348	6,091	1,743		
受取手形及び売掛金	27,904	25,389	△2,515		
有価証券	18,708	14,805	△3,902		
たな卸資産	9,836	12,315	2,478		
その他	1,994	2,360	366		
固定資産	21,713	20,786	△927	△4.3	21.2
有形固定資産	6,182	5,980	△201		
無形固定資産	955	931	△24		
投資その他の資産	14,575	13,874	△701		
投資有価証券	6,800	6,110	△689		
長期前払費用	6,530	6,436	△94		
その他	1,244	1,327	82		
資産合計	98,868	97,860	△1,007	△1.0	100.0
流動負債	14,472	13,471	△1,000	△6.9	13.8
買掛金	6,853	8,236	1,382		
未払金	3,287	2,316	△971		
未払法人税等	1,915	446	△1,469		
賞与引当金	660	1,257	597		
その他	1,755	1,214	△540		
固定負債	1,569	1,552	△17	△1.1	1.6
負債合計	16,042	15,024	△1,018	△6.3	15.4
株主資本	82,127	82,251	124	0.2	84.0
評価・換算差額等	698	584	△114	△16.3	0.6
純資産合計	82,826	82,836	10	0.0	84.6
負債純資産合計	98,868	97,860	△1,007	△1.0	100.0

主な増減要因

(流動資産)

- 受取手形及び売掛金 : 売上高の減少による減少
- 有価証券 : 金銭信託の償還による減少
- たな卸資産 : 商品の増加

(流動負債)

- 買掛金 : 商品仕入の増加による増加

#### ④ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2015年12月期	2016年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第1四半期	第1四半期		
	A	B		
設備投資額	426	136	△289	△68.0
有形固定資産	297	73	△223	△75.2
無形固定資産	128	62	△66	△51.2

#### 当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力向上を目的とする製造設備への投資  
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

#### ⑤ 非資金項目

(単位:百万円)	2015年12月期	2016年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第1四半期	第1四半期		
	A	B		
減価償却費	339	347	8	2.4
長期前払費用償却費	229	251	21	9.3

#### ⑥ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階 (国内)					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
<b>アレルギー領域</b>								
TO-203 「ミティキュア ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下錠			Phase II / III 終了※			・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ※今後の開発方針について検討中
	室内塵ダニアレルギー疾患 (小児アレルギー性鼻炎) (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下錠			Phase III			・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発
TO-206	スギ花粉症 (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下錠				申請		・自社開発 ・2015年12月25日に製造販売承認申請

前回公表時 (2016年2月3日) からの変更点

・TO-203 (アレルギー性喘息) の開発段階に「Phase II / III 終了※」、備考欄に「※今後の開発方針について検討中」と追記しておりますが、研究開発の状況に変更はありません。

### Ⅲ 2016年12月期 業績予想

※2016年12月期 業績予想については、2016年2月3日「2015年12月期決算 参考資料」で発表しております  
 予想数値から変更はありません。なお、2016年4月に実施の薬価改定の影響につきましては予想数値に織り込  
 み済みであります。

#### ① 損益計算書

(単位:百万円)	2015年12月期	2016年12月期	増減額	増減率 (%)
	実績 A	予想 B		
売上高	62,378	61,000	△1,378	△2.2
製商品売上高	61,861	59,770	△2,091	△3.4
腎・透析領域	27,627	25,710	△1,917	△6.9
皮膚疾患領域	10,970	9,080	△1,890	△17.2
アレルギー領域	905	1,870	964	106.5
HIV感染症領域	16,330	17,320	989	6.1
その他	6,028	5,790	△238	△4.0
その他の売上高	517	1,230	712	137.9
売上原価	30,814	30,500	△314	△1.0
売上総利益	31,564	30,500	△1,064	△3.4
販売費及び一般管理費	26,645	27,200	554	2.1
販管費(研究開発費除く)	21,408	22,500	1,091	5.1
研究開発費	5,237	4,700	△537	△10.3
営業利益	4,919	3,300	△1,619	△32.9
経常利益	5,135	3,400	△1,735	△33.8
当期純利益	3,527	2,300	△1,227	△34.8

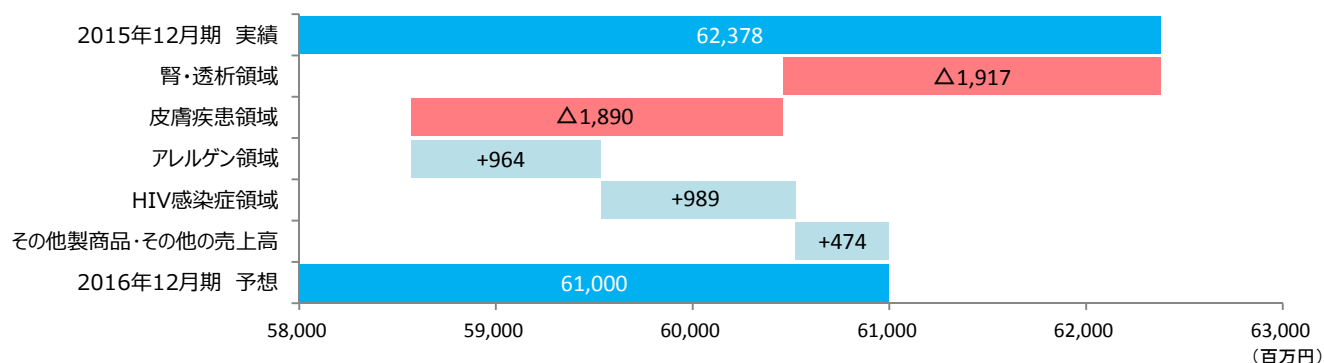
(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2015年12月期	2016年12月期	増減
	実績 A	予想 B	
売上原価	49.4	50.0	0.6
販売費及び一般管理費	42.7	44.6	1.9
研究開発費	8.4	7.7	△0.7
営業利益	7.9	5.4	△2.5
経常利益	8.2	5.6	△2.6
当期純利益	5.7	3.8	△1.9



## 【対前期実績増減要因】

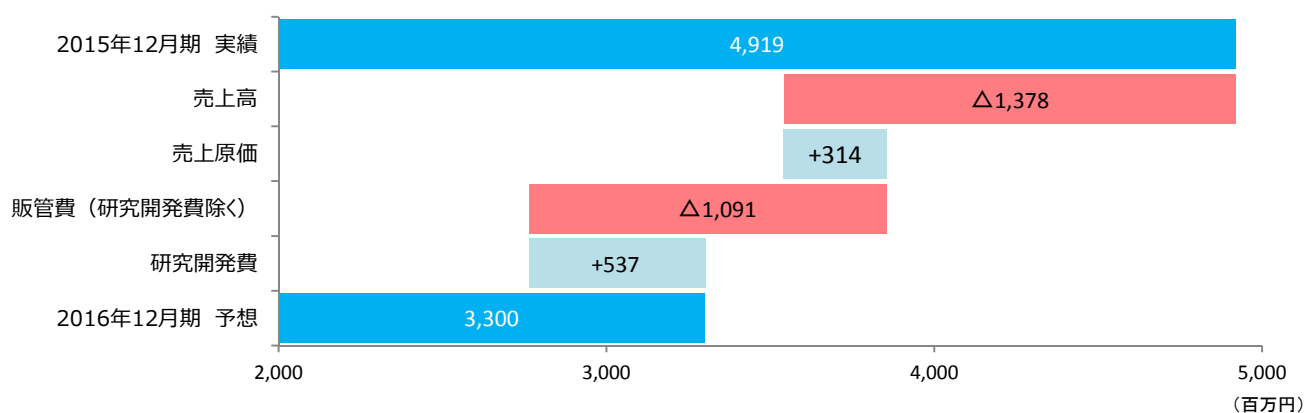
### 売上高（61,000百万円 対前期実績 $\Delta 1,378$ 百万円）



主な増減要因				
腎・透析領域	レミッチカプセル	$\Delta 2,486$ 百万円	注射用フサン	$\Delta 612$ 百万円
	ユリノーム錠	$\Delta 324$ 百万円	リオナ錠	+1,685百万円
皮膚疾患領域	アンテベート	$\Delta 921$ 百万円	ゼフナート	$\Delta 387$ 百万円
アレルギー領域	シダトレン スギ花粉舌下液	+528百万円		
HIV感染症領域	スタビルド配合錠	+416百万円	ツルバダ配合錠	$\Delta 388$ 百万円

※詳細はP.9「② 製商品別売上高」を参照

### 営業利益（3,300百万円 対前期実績 $\Delta 1,619$ 百万円）



主な増減要因	
売上原価	: 売上高の減少、薬価改定に伴う原価率の上昇
販管費（研究開発費除く）	: 販売権償却費の増加、販売促進費の増加
研究開発費	: 臨床試験費用（TO-206）の減少

### 経常利益（3,400百万円 対前期実績 $\Delta 1,735$ 百万円）

特記事項：特になし

### 当期純利益（2,300百万円 対前期実績 $\Delta 1,227$ 百万円）

特記事項：特になし

## ② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2015年12月期	2016年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
製商品売上高	61,861	59,770	△2,091	△3.4
レミッチカプセル	15,636	13,150	△2,486	△15.9
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	12,938	12,550	△388	△3.0
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
リオナ錠	5,034	6,720	1,685	33.5
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
アンテベート ※	6,881	5,960	△921	△13.4
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
スタビルド配合錠	3,133	3,550	416	13.3
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
注射用フサン ※	3,062	2,450	△612	△20.0
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ビオスリー	2,272	2,320	47	2.1
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ケイキサレート ※	2,288	2,110	△178	△7.8
高カルウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
ロコイド ※	1,417	1,330	△87	△6.1
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ユリノーム錠 ※	1,604	1,280	△324	△20.2
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
マグセント	1,143	1,170	26	2.3
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※	511	1,040	528	103.2
スギ花粉症の減感作療法(アレルギー免疫療法)薬 [アレルギー領域]				
ゼフナート	1,407	1,020	△387	△27.5
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
その他製商品	4,528	5,120	591	13.1

※ 自社品

### (参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2015年12月期	2016年12月期	増減	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
自社品売上高	17,567	16,370	△1,197	△6.8
自社品比率 (%)	28.4	27.4	△1.0	-

### ③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2015年12月期	2016年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
設備投資額	2,207	1,160	△1,047	△47.5
有形固定資産	1,802	756	△1,046	△58.1
無形固定資産	405	404	△1	△0.3

#### 設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力向上を目的とする製造設備への投資  
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

### ④ 非資金項目

(単位:百万円)	2015年12月期	2016年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
減価償却費	1,457	1,438	△19	△1.4
長期前払費用償却費	824	1,089	264	32.1

### ⑤ 配当

		2015年12月期	2016年12月期	増減	増減率 (%) (B-A)/A
		実績 A	予想 B		
1株当たり配当金	(円)	48	48	0	0.0
配当性向	(%)	38.5	59.1	20.6	-

#### 【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令又は規制の変化
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延又は中止
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 訴訟の提起